

### Pick Up News

長い連休を終え、新元号令和とともに大学も再スタート。学業や課外活動において実りのある時間を過ごして下さい。1年生は入学1ヵ月を過ぎて、大学生活にもなじんできたことでしょう。多くの学生が積極的に物理や数学の支援講座を受講しているようで大変よいことと思っています。自分自身で足りないところを自覚し、努力することは大切なこと。必ず将来につながります。大学での学びは新しいことばかり。時間をかけて予習・復習をすればするだけ建築の力が付いていきます。将来の自分の姿をイメージしながら日々励んで下さい。1年生に実施したアンケートからは他大学の併願先として本学科を選択して入学した学生も多くいることがわかります。しかしそれも運命。与えられた場所で精一杯やることで、自らの人生は切り拓かれます。自分自身が前向きになれば、すべては好転していきます！



1年生が入学直後に実施した街歩きワークショップ。その後10日間のグループでの作業を通して多くの仲間をつくりました。それぞれが持っている力を発揮しながらまとめ上げた作品はどれも魅力的。一つのものをつくりあげることの難しさと楽しさを味わいました。全20班の成果物の中から最優秀賞(上の作品)、優秀賞、各部門賞が選ばれました。

前年度の学業成績にもとづく大学からの成績優秀者表彰、3年生にはあわせて専門科目部門別の成績優秀者と宅建資格取得者に建築学科商建会賞が授与されました。



本学との協定校・フランスの名門パリ・ヴァル・ドゥ・セーヌ国立高等建築学校の大学院生が来校。本学科教員・院生との交流を行いました。2年に一回の海外研修でパリの大学にも訪問しています。震災からの復興と関わる研究について学んで行きました。

### 【データでみる建築学科2019 Facts of Dept. of Architecture】

**出身県別:**青森県39名(6.7%)、秋田県24名(4.1%)、岩手県43名(7.3%)、宮城県363名(61.6%)、山形県56名(9.5%)、福島県38名(6.5%)、栃木県6名、茨城県6名、新潟県6名、北海道・静岡県・宮崎県各1名、留学生5名。

**男女別:**女子130名(22.0%) 男子462名(78.0%)

**出身高校別:**約30%が工業高校等の専門高校(科)出身 約70%が普通高校(普通科)出身

多様なバックグラウンドを持つ学生が集まっているところが建築学科の特徴です。自分にはないものを持つ仲間は大切な存在です！

### Pick Up Lab. 福屋研究室

は建築デザイン・建築史の研究室です。昨年度はコンペ参加を中心に活動を行いました。コンペに参加することで建築提案をはじめ、効果的なプレゼン方法など「建築デザインの力」を養います。第7回大東建託賃貸住宅コンペ指名大学部門では上位校に選別していただき有名建築家をはじめとする審査員の方々の前で発表することができました。対象敷地を石巻市と選定し、生活習慣の問題に対し建築や賃貸スキームを活用し解決を試みました。コンペの内容は新建築2019年4月号に掲載されています。学年を横断してグループを構成することが多いため、縦のつながりが強いところも研究室の特色です。(修士2年:堀金)



左:第7回大東建託賃貸住宅コンペ 公開審査の様子 右:2018年福屋研究室建築見学会 生物建築舎での集合写真



3年 鈴木 麻裕 宮古高校 出身

### Pick Up Student

あっという間に大学生活の折り返しを過ぎました。私は普通科から進学したため建築を一から学び、ついていくのに必死で、1・2年生は受身になっていた部分が多かったように感じます。これから3年生になりコース選択、研究室配属、そして就職活動と能動的に動いて自分で選択していく場面が多くなると思います。将来像をしっかりとイメージし、それに近づける努力を怠らず、悔いの残らないよう限られた時間を有意義に過ごしたいと思います。社会人としてのマナーや人間力を身につけるためにも、将来の職業生活と今の大学生活を連動させて生活していきたいです。そして、大学生活の前半戦とはまた違う楽しさや刺激を味わいたいです。



1年 高橋 辰弥 八戸北高校 出身

### Pick Up Student

大学生活が始まり一ヶ月近く経ちましたが、まだまだ慣れないことだらけです。高校に比べて、大学生活は自由だからです。高校時代は先生方が手厚くサポートしてくださったおかげで、受動的ではありますが勉強と距離を置かずにご過ごしていたと思います。一方で大学では、勉強をもしないも自分次第なので、うっかりすると勉強を全くしなくなる時もあると思います。しかし、自分で勉強できることは高校の勉強よりも楽しいと思うので、興味のある分野を探求してみたいと思います。大学生活は自由で、油断すればすぐに休んでしまいがちなので、それに負けずに学校に来たいです。また、課題を出す計画性も最低限身につけたいです。